

巨大カルデラにおける滝分布

小田滝



溶結凝灰岩岩にかかる滝、熊本県南小国町

七滝



溶結凝灰岩の溪流を流れる滝
熊本県南小国町



夫婦滝

熊本県南小国町



↑
男滝

←女滝

土田(はんだ)滝



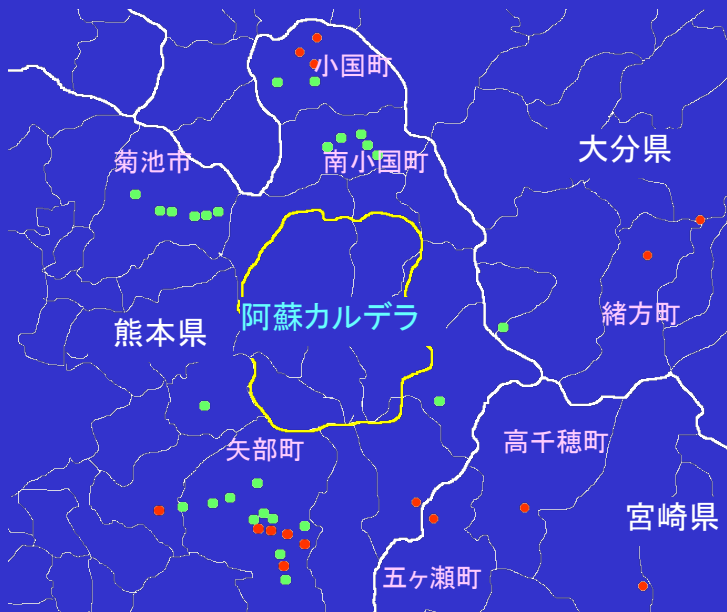
溶結凝灰岩にかかる滝、熊本県小国町

下城滝



溶結凝灰岩にかかる滝、熊本県小国町

阿蘇の滝の分布



赤丸: 柱状節理
が発達した滝

緑丸: 柱状節理
が未発達
の滝

阿蘇外輪山(巨大カルデラ)の滝のまとめ

1. 上流部に小型の滝が連続し、溪流瀑または段瀑である。滝自体に柱状節理は見られないが、滝の周囲に存在することがままある。上流では火砕流堆積物の層が薄かったためであろう。
2. 下流部に柱状節理に覆われた断崖を持ち、直瀑で大きな滝壺を持つ落差が大きな滝が存在する。下流部では火砕流堆積物が厚く堆積した結果と考えられる。
3. 形成された年代が新しく幼年期地形をなし、滝は本流型が原則であるが、懸谷型も多数存在する。
4. 1と2は統計学的に区別できる。